



大寒を過ぎ、寒い日々が続いています。越美山系砂防事務所周辺でも、先週末から雪が降り始めました。この雪が工事の進捗を遅らせなければよいのですが…。降雪・積雪が工事に影響しないことを祈りながら、冬空を眺める毎日です。

法面保護工を施工中 =大蔵谷=

揖斐川町榎原(かしはら)地先で工事を進める大蔵谷(おぞうだに)第1砂防堰堤道路工事(施工:榊久保田工務店)は、切り土法面を保護するためのモルタル吹付工が最終段階を迎えています。



モルタル吹付工の施工状況

前庭保護工に着手 =敷原谷=

本巣市根尾長嶺(ねおながみね)地先で工事を進める敷原谷(しきはらだに)第1砂防堰堤(施工:田中建設工業)は、INSEMI工法による山留工が一部完了したため、工所用進入路を左岸側で切り替え、前庭保護工の施工へと移りました。



前庭保護部の掘削状況

難工事区間を施工 =高地谷=

揖斐川町小津(おづ)地先の高地谷(たかちだに)において、高地谷第1砂防堰堤を設置するために必要な林道の付け替え工事のうち、平成24年度施工箇所の子工事に着手します。工事は平成25年11月末まで行い、施工は西濃建設(株)が行います。

今年度の施工を行う箇所は、過去に崩壊した箇所を中心に施工するため、林道の付け替えが必要な箇所の中で、最も難工事が予想される区間です。十分な安全対策を講じながら工事を進めていきます。



本工事の施工対象区間

新技術の残存型枠を活用 =ドン谷=

揖斐川町坂内坂本(さかうちさかもと)地先で工事を進めるドン谷溪流保全工事(施工:西建産業(株))は、現場打ちコンクリート構造物の型枠において、新技術である特殊金網を使用した残存型枠を使用した試験的な施工を行いました。

従来工法のコンクリート二次製品の残存型枠に比べると軽量なため、型枠組立時の作業性、安全性、省力化の向上が期待されます。



手前が化粧タイプ、奥が化粧なしタイプの型枠の仕上がり状況

シンポジウム「中山間地の防災を考える」 ～パネル展示を行いました～

1月23日(水)に三重県いなべ市において、シンポジウム「中山間地の防災を考える IN TOKAI」が開催されました。中山間地は土砂災害等に被災する可能性が高い地域です。そこで、シンポジウムでは減災教育の必要性や住民の自助・地域の共助・行政の公助のあり方などが議論されました。

また、会場においてパネル展示を行い、当事務所の防災に対する取組や災害復旧活動について、参加者の皆様にご覧いただくことができました。

当事務所のパネル展示 中部地



パネルディスカッション



クマタカ通信をメール配信します。配信希望の方は下記宛に「配信希望」とメールを送信して下さい。

また、クマタカ通信の感想やご意見もお待ちしています。

発行 国土交通省中部地方整備局
越美山系砂防事務所 揖斐川砂防出張所
〒501-0619 岐阜県揖斐郡揖斐川町三輪2303-3
Tel: 0585-22-3526 Fax: 0585-22-6626
E-mail: ibigawa-sabo@beach.ocn.ne.jp